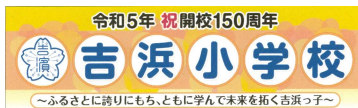


花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和6年1月25日 No.86

1 雪が積もりました

久しぶりに雪が積もりました。私たち大人にとっては心配なことが多いですが、子どもたちはとても楽しそうに、嬉しそうに登校してきました。中には滑って転んで涙ぐんでいる子もおり、その子の手を優しく引いて連れてきてくれた上級生もいたそうです。嬉しい場面です。

そして、登校する多くの子が手に雪（雪玉）を持っていました。「ぜんぜん冷たくないよ！」と手を真っ赤にして話す子もいました。大きい雪玉から小さい雪玉までさまざま、友達のものと一緒に雪だるまにして玄関に置いてくれた子もいました。また、大切に育てているチューリップの芽が埋まってしまったと心配している子もいました。厳しい冬を乗り越えるからこそ綺麗な花が咲くのだと話しましたが、1年生には難しかったかもしれません。植物の生命力、すごいですね。

この雪、2時間目にはほとんど溶けてなくなりましたが、少しの時間、いつもと違う過ごし方をした1日となりました。



2 薬物乱用防止教室



6年生が薬物乱用防止教室を行いました。講師として高浜ライオンズクラブ（碧南警察署の方にも来ていただく予定でしたが、雪の影響により本日は欠席となりました）のみなさんにきていただきました。

近年、私たちの身近でも「薬物」の存在を感じる場合があります。大麻や覚醒剤、危険ドラッグなど、今では、「疲れがとれる」とか「元気になれる」と言われ、危険ドラッグだと知らずに使用し、また、違法なものだとは知っていても1回くらいならと軽い気持ちで使用し、気付いたときにはもうやめることもできない状態になってしまうことが多いことを教えていただきました。身も心もぼろぼろになってしまうだけでなく、使用した人の家庭までも壊してしまう恐ろしさも知りました。キャンペーンの旗にあるように「薬物乱用は **ダメ。ゼッタイ。**」です。ご家庭でも話題にしてみてください。

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和6年1月31日 No.87

1 よくがんばった高浜シティマラソン

声援背にさわやかな汗
高浜シティマラソンに100人

第25回高浜シティマラソン（中日新聞社後援）が28日、高浜市湯山町の高浜中学校を発着点に行われた。男女1004人が参加し、三河高浜駅周辺など街中を駆け抜けた。

1・5・10の四つの距離で、性別や年齢別の計16部門で競った。風があまりなく天候にも恵まれ、参加者は気持ち良さそうに快走。沿道では家族らが大きな声援を送っていた。未就学児が保護者らと走るシヨキングもあった。

（西山和宏）

○上位入賞の皆さん
（10歳）男子50歳以上 ①福井 隆光 2 高木康次 3 水田光男 ④同30 ① 49歳 ① 岡田貴人 2 石田和也 3 高岸修司 ④ 同中学生 ① 29歳 ① 宇都木秀太 2 木下達志 3 岩田幸樹 ④ 女子30歳以上 ① 吉田早織 2 工藤 恵美 3 杉江聖子
（15歳）男子50歳以上 ① 金田



元気にスタートする参加者ら—高浜市内で

高浜中学校にて高浜シティマラソンが開催されました。吉浜小学校からもたくさんのお子たちが参加し、それぞれの部門で汗を流しました。苦しさを乗り越えてゴールして味わう爽やかさが最高ですね。

☆入賞おめでとうございます！
小学男子5・6年 第2位 内藤 陽向さん
小学女子4年以下 第3位 松下 莉乃さん

芳雄 2 土野勝也 3 浅井慎哉 ④ 同30 ① 49歳 ① 前田尚人 2 楠本和典 ③ 池田和彦 ④ 同高校生 ① 29歳 ① 江尻勇貴 2 曾田隆幸 3 田中尚士 ④ 中学男子 ① 浅井湧陽 2 中川琉汰 ③ 谷健太郎 ④ 女子30歳以上 ① 宮地麻美 2 西澤陽子 3 丹羽幸子 ④ 同高校生 ① 29歳 ① 城川愛佳 2 平野 真緒 3 伊藤紅葉 ④ 中学女子 ① 我妻雪華 2 野嶋美晴
（3歳）小学男子5・6年 ① 青山正幸 2 内藤陽向 3 岩月旺佑 ④ 同4年以下 ① 上村興斗 2 佐藤悠月 3 高橋陽貴 ④ 小学女子5・6年 ① 上村柚貴 2 戸畑谷崎 3 岡田映月 ④ 同4年以下 ① 酒井香音 2 楠本琴音 3 松下莉乃
（1・5歳）小学1・2年 ① 早川凌登 2 浮田紗和 3 八坂大輔

【1月30日 中日新聞西三河版より】

2 認知症サポーター養成講座

2005年認知症サポーターの制度が始まりました。年々、認知症を患う高齢者も増加しています。現在、認知症高齢者は65歳以上の高齢者の約7人に1人とされています。25年にはこれが約5人に1人になると推計されています。認知症に対する正しい知識を身に付け、地域に暮らす当事者やその家族を見守る「サポーター」を養成することで、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを進めるために認知症サポーター制度が創設されました。本校では3年生が、「認知症サポーター養成講座」を受講しました。



高浜市健康推進グループ、認知症キャラバンメイトの方々に来ていただき、認知症について分かりやすくお話をいただきました。認知症の脳の仕組みについて、イメージできるような資料を準備したり、紙芝居を読んでくださったりして、子どもたちの記憶に残る講座になりました。ありがとうございました。なお、本講座を受講したことを証明するバッジをもらいました。この日の帰り、早速身に付けて嬉しそうに下校する子どもたちの姿がありました。

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和6年2月2日 No.88

コース別全学年レク

児童会の子どもたちの「(コロナ禍でできなかった)全校での交流を計画したい」という熱い思いにより、「コース別全学年レク」が計画され、実行されました。通学のコースごとに交流するので、近くにいる異学年の子どもたちと顔見知りになるということに加え、学校全体の仲を深めよりよい生活につなげることをねらったということです。児童会による計画ですが、右の日程表のように8日間にわたる交流なので、6年生から協力してくれる実行委員を集め、その子どもたちがコースの人数をみて各レクの計画・準備を進め、当日も立派に運営をしてくれました。感謝です。



全学年の仲を深めながら、よりよい吉浜小学校に！

コース別全学年レク

2月22日～1月31日

22日 (月) 赤 みんなでた まさんが転ん だ！	23日 (火) ピンク ボールを避け る 転がしドッジ！	24日 (水) さくら みんなで避け よう 転がしドッジ	25日 (木) 黄 ボールにあたる ころがしドッチ
26日 (金) オレンジ 爆発から逃げる！ ときどき爆弾ゲー ム	29日 (月) きみどり ガチガチたるま さんがころんだ	30日 (火) 緑 バレーに走もう！ 楽しいたるま さんがころんだ	31日 (水) 水色 すばやく回せ 爆弾ゲーム！

2時間が終わったら体育館へ来てください。お楽しみに！



地区別ではありますが、1年生から6年生までの子どもたちがいっしょになってレクリエーションを楽しむことができました。写真のように楽しそうな素敵な笑顔がいっぱいでした。



このようなレクリエーションの中、大変印象深い場面を目にしました。それが下の2枚の写真（慌てて撮りましたので少しぼけてしまいました）です。6年生の実行委員が片付けをしています。参加した下級生の子どもたちは急いで教室へ戻っていきましたが、戻らずに実行委員の片付けを手伝う下級生の姿がありました。児童会や6年生の子どもたちが考え、一生懸命運営してくれたことが伝わったのだと思います。大変心が温くなる場面でした。

「上級生のがんばりを見て、下級生がそれに応えようとする、そして、自分も上級生になったら…という想いを抱く」こんな様子がたくさん見られる学校でありたいと常々思っていますが、少しずつそんな様子が見られるようになってきています。大変嬉しく思うとともに、今後、さらに大きく広まっていけばと思っています。



【コース別全学年レクを終えてひとこと】

- ◇ころがしドッジであたらずに最後まで逃げた。友達と一緒に逃げていて楽しかったよ。
<1年 都築賢征さん>
- ◇とっても楽しかったあ。もっとやりたかったけど、お兄ちゃんたちと遊べてよかった。
<1年 バレステロス シホさん>
- ◇爆弾をとめちゃったよ。他の学年の子たちといっしょに遊べてよかったです。
<2年 村瀬結月さん>
- ◇（爆弾ゲームを）初めてやりました。みんなでわいわいできてうれしかったです。妹もいて一緒に叫んだり跳び跳ねたりして楽しくできました。
<3年 高橋桜唯さん>
- ◇見ていてみんな楽しめているなと感じました。みんなに楽しんでもらうことが一番の目的だったので嬉しかったです。
<6年 都築建人さん>

花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和6年2月6日 No.89

中学校の先生のお話を聞きました

6年生の子どもたちが吉浜小学校で過ごすのもあとわずかとなりました。4月からは中学生です。中学校に進学するにあたり、学習や生活、部活動など、期待半分、不安も半分といったところではないでしょうか。子どもたちの不安を少しでも解消し、期待でいっぱいにするために今年度も高浜中学校の先生に来ていただき、中学校のお話を聞かせていただきました。来ていただいたのは、高浜中学校で生徒指導を担当されている竹内隆二先生です。

竹内先生からは、高浜中学校での学習や生活、学校行事などについて教えていただきました。話だけでなく、中学生にインタビューし、それらについて中学生が説明したり、感想を話したりする動画を見せていただきました。中学生の生の声を聞くことができたことは子どもたちにとってよかったと思います。イメージを膨らませることができました。

竹内先生のお話を聞き、特に私の心に残った部分についてまとめて記します。

①相手の視点でみること・考えることも必要

小学校を卒業すればみんな中学校に進学することになっている。中学校を卒業すると、進学したり、就職したりするなど、どうなるかは決まらず、自分で決めることになる。そして、決めたらそうなるかというとはなく、試験を受け(受験)、認めてもらう必要がある。受験は相手意識が大切。相手が自分をどう見るのか、どうとらえるのか、そして、今の自分は相手がよしとしてくれる自分であるのか、そういった視点で自分を見つめられるとよい。

②応援される人になろう

応援したくなるのはどんな人だろう。一生懸命な人。こつこつと努力を重ねている人など。応援は力になる。そして、応援する人にも力を与える。みんなに応援されるような生き方をしてほしい。

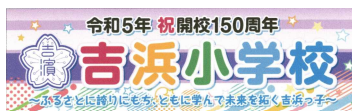
振り返ってみると、私もそうでしたし、これまで担任をしてきた6年生の子どもたちもそうでした。慣れ親しんだ小学校から中学校へ進学することに、期待よりも不安の方が大きいものでした。現在はこの日のような会が計画され、子どもたちの不安を少しでも解消する取組が市内で行われています。

恐れることはありません。例えば、上に記した二点について。子どもたちは最高学年として、1年生のお世話や各委員会での活動・取組など、多くの場面で相手のことを考え、企画・運営など、がんばってやってきました。そういった目で自分を見つめ直すだけです。先日のコース別全学年レクでは、下級生のために一生懸命がんばったからこそ、片付けを手伝う下級生がいたわけで、これはまさに下級生から応援されていると言ってもよいのではないのでしょうか。今の自分を大切に、自信と希望をもって中学校に進学してほしいと思っています。ご家庭でも、保護者の皆様の経験を語っていただきながら、子どもたちの気持ちを盛り立ててあげてほしいと思っています。



花咲く明日を

～ 吉浜小学校だより ～



高浜市立吉浜小学校
令和6年2月8日 No.90

令和6年度児童会役員選挙

今年も来年度の児童会役員を決める選挙の時期になりました。3年生から5年生の子どもたちが投票します。この選挙の目的は2つあり、「児童会役員となる子とこれからの吉浜小をともによくしていこうとする気持ちをもつ」と、「どの候補者と一緒に学校をよくしていきたいかを考えて投票することで、自己決定の場を大切に、学校活動にもともに参画していこうとする気持ちを高める」ことにあります。



この選挙に4年生、5年生あわせて17人の子が立候補しました。そして、選挙当日の朝まで、役員になってやってみたいこと、こんな吉浜小にしたいということなどを校門に立って登校する子どもたちにあいさつをしながら呼びかける活動が始まっています。

学級	立候補者氏名	ふりがな	児童会役員になってやってみたいことなど
5の1	浅田 爽良さん	あさだ そら	学年・クラスに関係なく助け合い、笑顔で楽しい学校にしていきたいです。
5の1	藏元慎之介さん	くらもと しんのすけ	元気いっぱい笑顔がいっぱいの吉浜小学校にしていきたいです。
5の2	近藤 早穂さん	こんどう さほ	あいさつやキャンペーンでみなさんが笑顔あふれる学校にしたいです。
5の2	榊原 彩心さん	さかきばら あやみ	笑顔と感謝あふれる吉浜小学校にしたいです。
5の2	杉浦 暉十さん	すぎうら たくと	吉浜小学校を新しいことに挑戦し続けられる学校にしたいです。
5の3	久須美葵央さん	くすみ あお	吉浜小学校をありがとうが溢れる学校にしたいです。
5の3	寺島 れなさん	てらしま れな	みんなが安心して楽しく生活ができる学校にしたいです。
4の1	田村 至誠さん	たむら しせい	ポスターに書いたとおり明るく、元気に、楽しく、安全な学校生活を送れるようにしたいと思っています。
4の1	野々山恵斗さん	ののやま けいと	この学校をあいさつ溢れる学校にしたいです。なぜかという、あいさつはみんなのハッピーにつながると思うからです。
4の2	藤原 俊介さん	ふじわら しゅんすけ	この学校を思いやり、優しさのある学校にしたいです。
4の3	杉浦 啓さん	すぎうら けい	この学校を明るく楽しい学校にしていきたいです。
4の3	堂脇 幸花さん	どうわき さちか	吉浜小学校を笑顔いっぱい、あいさつのできる学校にしたいです。
4の3	仲井 陽菜さん	なかい ひな	笑顔で元気いっぱいの学校にしたいと思っています。
4の4	太田 葵さん	おおた あおい	吉浜小学校をみんなが楽しく通えるような、迷わず楽しいと言える学校にしていきたいです。
4の4	鈴木 心優さん	すずき みひろ	学校生活をよくすることができるよう精一杯がんばります。
4の4	鈴木颯太郎さん	すずき りょうたろう	楽しくなる学校を目指してキャンペーンなどをたくさん行います。
4の4	毛受 隼太さん	めんじょう はやた	僕は声を出すのが得意なので、あいさつでみんなが毎日楽しくなるようにしたいです。

<「立候補者紹介動画」より>

児童会役員選挙は2月19日(月)に予定しています。立候補することは勇気のいることだと思いますが、「やってみよう」と一歩踏み出したことは当落にかかわらず子どもたちの大きな財産になっていくと思っています。